



ブロックチェーンと分散自律型社会①

国際社会経済研究所(NECグループ) 調査研究部主任研究員

松永 続行

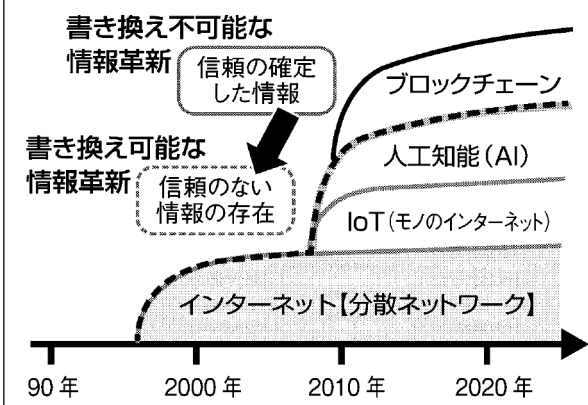


インターネット上の多数のコンピュータで、情報の信頼の合意形成を実現した仕組みであり、外部の者ばかりではなく、記帳者等

えの不可能な信頼情報を基点に価値交換をすることも可能になる。

インターネットの革新は、情報空間の中

インターネットに重畳する3つの技術革新



書き換え不可能

を学習すると正しい結果が出ない。従って、

ブロックチェーンは、書き換え不可能な情報空間を形成する対極的な革新である。書き換え可能な価値を形成したインターネットの革新の上に重なり、新しいビジネスを生みながら社会構造の革新が進展しようとしている。

デザイン能力

このような重畳的な革新においては、私たちの事業や社会に、新たな情報や悪意のある情報が含まれ、時には社会的な問題が発生する。そのような問題を防ぐために中央での管理が必要になることが多い。AIの利用においても信頼のない情報

次の社会革新
ブロックチェーン(分散型台帳)がインターネットの次の社会革新として注目を集めている。

ブロックチェーンの価値が保証される点に期待が高まっている。ブロックチェーンの特徴は、中央に管理する主体を持たずに情報信頼性を担保できることにある。分散する

インターネットの革新は、映像情報を扱い、物事を判断する人工知能(AI)も大量の情報書き換えを急激に加速している。IoT(モノ)化させながら進化して

インターネットの革新は、映像情報を扱い、物事を判断する人工知能(AI)も大量の情報書き換えを急激に加速している。IoT(モノ)化させながら進化して

コンピュータと共存

(金曜日に掲載)